「美味しい」お米栽培

「ライズ」と一緒に
稲わら・もみ殻をすき込んで土づくり

秋か春にライズを散布して稲わら・もみ殻をすき込んで土づくりをします。
稲わら・もみ殻は貴重なケイ酸源です。

■ライズの効果

ワキ防止	稲わらを早く発酵させてワキを抑えます。
微生物増加 食味向上	ライズ菌が稲わら・もみ殻を発酵分解して 土となじませ、有効菌を増やして「土づくり」をおこないます。 そのため稲が元気に育って美味しいお米ができます。
ケイ酸 増加	稲わら・もみ殻に含まれている 吸収されやすいケイ酸を土壌に還元します。 (ケイ酸成分 稲わら13% もみ殻20%)*
雑草対策	土壌が滑らかになって“トロトロ層”ができますので 雑草対策になります。

↑ライズ®
15kg入り、粉状又は粒状
施肥量(10a当り):2袋(30kg)

■ライズ散布後の稲ワラの水中沈殿試験

ライズ散布
稲ワラが
発酵して
沈殿が早い

水稲への ケイ酸効果	イモチ病抵抗性の増加／倒伏の防止／日照不足対策 葉の受光体勢の改善／収量の増加／高温・低温対策

ライズは微生物資材です、肥料・堆肥では有りません。有機質材料及びカルシウムやケイ酸などのミネラルを豊富に含んだ新生代貝化石にライズ菌(乳酸菌、麹菌、酵母、放線菌、糸状菌などの有効微生物)を長時間培養し微生物・酵素活性を高めたものです。作物が元気に育って美味しくできます。ライズは発酵したケイ酸(コロイド状ー植物への吸収効率が大変良い)を26%含んでいます。特に稲にとってケイ酸は窒素・リン酸・カリと並ぶ大変重要な成分ですのでライズの効果が大きいです。
(*10a 当りの稲ワラ・モミガラと ライズから供給されるケイ酸のおおよその量:稲ワラ91kg モミガラ 29kg ライズ7kg 合計127kg)
ライズは農林水産省の有機ＪＡＳ規格に適合しております。

製造元
全国土壌改良資材協議会員
有限会社 花巻酵素
〒025-0001 岩手県花巻市天下田48-4
TEL.0198-24-6521 FAX.0198-24-2528
https://www.hana-ko.co.jp

ライズによる稲わら処理方法

乾　田	秋、稲刈り直後に ライズ 2 袋（30kg）散布しすぐに耕起。
	◆排水の良いところは散布後浅く耕起しますと非常に効果的です。 ◆春は 15cm 以上深く耕起します。
湿　田 排水不良田	秋に耕起できる場合、稲刈り直後に ライズ 2 袋（30kg）散布しすぐに耕起。
	◆秋耕が出来ないときはライズを散布せずに排水処理のみを行う。
秋に散布できないときは、春耕時にライズ 2 袋（30kg）散布しすぐに耕起。	
※圃場に水溜りがあってもライズを散布してかまいませんが散布後すぐに耕起してください。	

ラ イ ズ とは

ライズは酵母などの好気性菌と乳酸菌などの嫌気性菌を含む多種の有効微生物を新生代第三期の貝化石に多数発酵培養したもので有機質の発酵分解力にすぐれています。さらに貝化石にはケイ酸、カルシウム、苦土、マンガンをはじめとして多くのミネラルが含まれていますので、これらが植物に吸収されやすい形で土壌へ補給します。

ライズに含まれる微生物数(1g 中)

一般生菌数	4.0×10^{9}
乳酸菌数	2.9×10^{9}
酵母数	5.0×10^{6}
糸状菌数	1.0×10^{7}
放線菌数	1.0×10^{7}

※微生物数、成分含有量は一例であり保証するものではありません。

ライズの成分組成

窒素	0.8%	その他の微量要素
リン	1.4%	鉄,銅,亜鉛,アルミニウム,ナトリウム,コバルト、無水硫酸,硫黄、塩素,ホウ素 ほか
カリウム	1.2%	
カルシウム	5.5%	
ケイ酸	26.0%	
苦土	1.3%	
マンガン	0.05%	ｐＨ　6.4

◎ライズは追肥でも効果があります

【追肥の時期】	【効　果】
出穂 30～40 日前または中干し直後 ライズ 2 袋（30kg）散布。	ライズ微生物と発酵ケイ酸の効果で稲の倒伏防止、根張り促進、過剰窒素の抑制、幼穂の充実、低温・日照不足対策

◎ライズは苗作りにも使えます

丈夫な苗作り （育苗床土に２%混合）	床土 18 ﾘｯﾄﾙ（1 斗）にライズを 360cc（２合）の割合で混合。床土を使う直前に混合。根張り良し。

お買い求めは

ライズ製造元
有限会社花巻酵素